



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

資料1

芳賀・宇都宮地域公共交通計画における主な取組の 進捗・目標指標の評価について

令和7年6月27日



- 1 現行計画の概要
- 2 主な取組の進捗
- 3 現行計画の目標指標の達成状況

<参考> 芳賀・宇都宮地域公共交通計画の概要



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

- 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画として、宇都宮市と芳賀町が共同で策定したもの
- ライトライン導入に向けた事業計画である「軌道運送高度化実施計画」や、バス路線再編に向けた事業計画である「地域公共交通利便増進実施計画」の前提となる計画
- ⇒ 今回の協議会において、計画の**目標の評価**と事業の**令和6年度における進捗管理**を行う

計画期間

- 令和6年度から令和15年度までの10年間

計画区域

- 宇都宮市・芳賀町

基本方針

- ① 階層性のある公共交通ネットワークの整備
- ② スマートな公共交通の実現
- ③ 公共交通の利用促進

計画の目標

目標の評価

目標指標	現況値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
公共交通の年間利用者数	2,789万人	3,400万人
公共交通の夜間人口カバー率	92.5%	100%
公共交通に対する満足度	宇都宮市:36.4% 芳賀町:41.4%	宇都宮市:38.4% 芳賀町:50.0% (R9)
交通系ICカードによる運賃支払いの割合	87.0%	90%以上

目標を達成するために行う基本施策（主な事業）

進捗管理

【階層性のある公共交通ネットワークの充実】

- ① 芳賀町・宇都宮市を結ぶ基幹公共交通軸の構築(JR宇都宮駅西側ライトライン導入 等)
- ② 計画区域全域のバス路線の維持・充実(ライトラインなどと連携したバス路線の再編 等)
- ③ 日常の移動を支える公共交通の維持充実(デマンド交通の充実, 地域内交通の導入・利便性向上 等)
- ④ 鉄道・ライトライン・バスを補完する交通手段の充実
(鉄道・ライトライン・バスを補完するシェアリングモビリティの充実 等)
- ⑤ 多様な乗り継ぎ・乗り換え環境の構築(トランジットセンター(乗り継ぎ拠点)の整備 等)

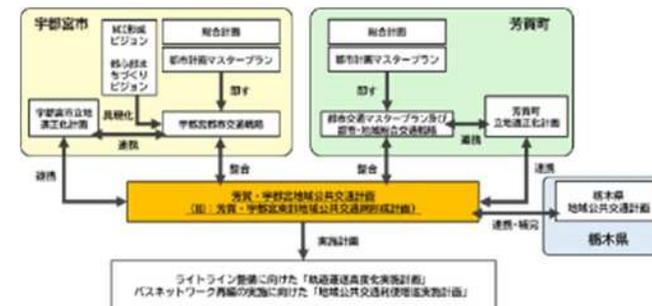
【スマートな公共交通の実現】

- ① 公共交通の運賃負担の軽減(運賃負担軽減策の維持・実施)
- ② 交通DXの活用(乗継割引を反映した情報提供 等)

【公共交通の利用促進】

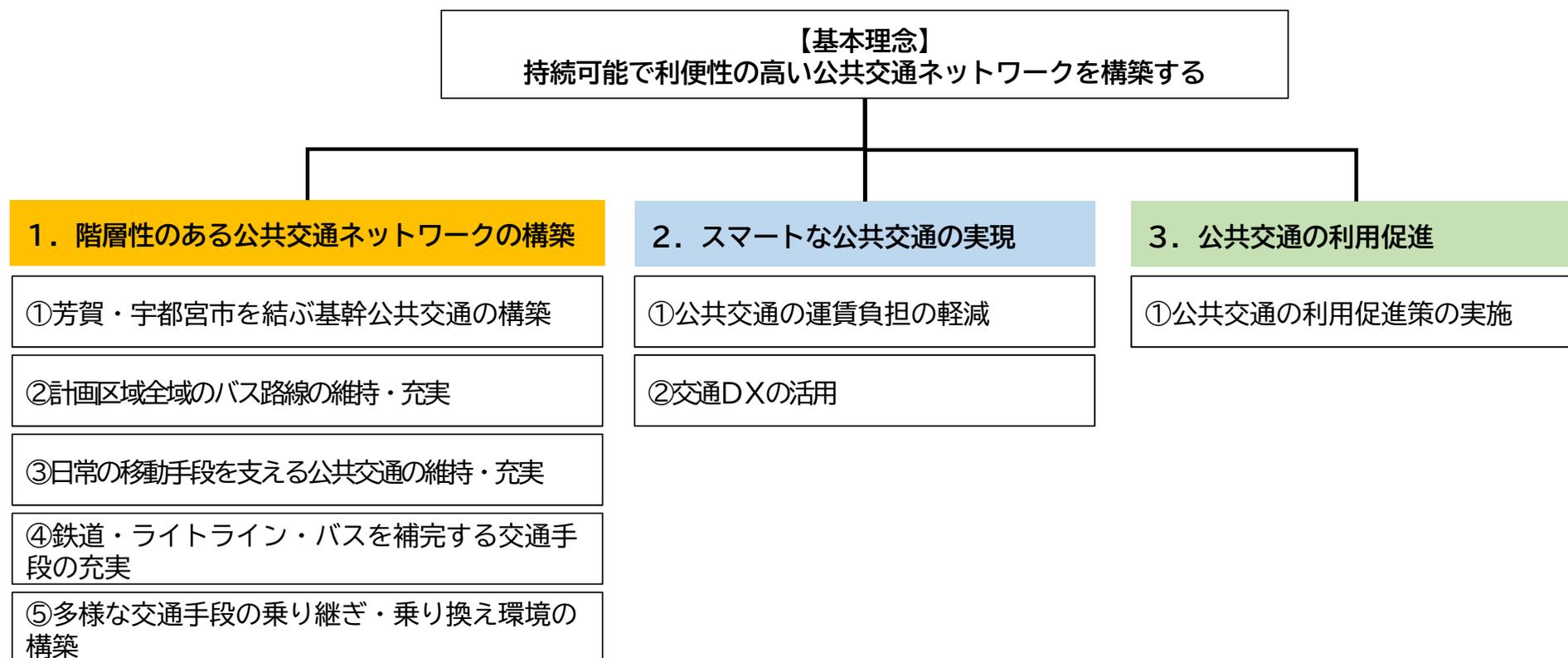
- ① 公共交通の利用促進(ライトライン再編バス路線沿線でのモビリティ・マネジメント 等)

計画の位置づけ





目標を達成するために行う基本施策（主な事業）全体像



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①芳賀町・宇都宮市を結ぶ基幹公共交通軸の構築)

主な取組の進捗(➡: 今後の方針・令和7年度の取組)

(1) JR宇都宮駅東側ライトラインの充実【宇都宮ライトレール(株)】

- ・ 通勤・通学時間帯の増便や快速運行の実施、ダイヤ改正による所要時間短縮など
- ・ ライトラインの貸切運行の開始(R6実績:49件)(R6.5~)

➡ さらなる利便性向上に向けて、増便や快速運行の充実などに取り組むとともに、運転速度の向上について、国などの関係機関と協議しながら実施区間や運転速度などについて、引き続き、具体的な検討を進めていく。



【参考】令和6年度に受賞した賞

- ・ 第45回国際交通安全学会賞 業績部門
- ・ 2024ローレル賞(鉄道友の会)
- ・ 令和5年度全建賞
- ・ 第23回日本鉄道賞特別賞(LRT雷都未来特別賞)
- ・ 第18回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰
- ・ 令和6年度関東運輸局地域交通優良団体等表彰(関東運輸局長表彰)



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①芳賀町・宇都宮市を結ぶ基幹公共交通軸の構築)

主な取組の進捗(→:今後の方針・令和7年度の取組)

(1) JR宇都宮駅東側ライトラインの充実【芳賀・宇都宮】

- ・ 開業1周年記念事業の開催, 記念事業に関連した各種取組の実施(来場者数:約3.5万人)【宇都宮】
 - ・ ライトライン視察の受け入れ(開業後:596件)【宇都宮】 (~R7.3)
 - ・ 宇都宮餃子会とのコラボ「餃子お食事券付きライトライン1日乗車券」の利用店舗を拡大(R6.2~)【宇都宮】
 - ・ 開業1周年記念イベントやミライにつなぐのりものフェスを開催【芳賀】
 - ・ 道の駅はが&芳賀温泉ロマンの湯コラボ「ライトライン1日乗車券」を発売(R6.4~)【芳賀】
 - ・ 各種「ライトライン一日乗車券」の特典として,「芳賀TC~道の駅はが」間の往復無料バスチケットを付帯【芳賀】
 - ・ ライトライン停留場ベンチへの寄附の募集を実施(R5.11~)【芳賀】【宇都宮】
- 引き続き, 宇都宮ライトレール株・芳賀町と連携し, 利用促進に係る周知啓発物の作成, 市民参加型イベント等の開催に取り組む。【宇都宮】
- 各種コラボ「ライトライン一日乗車券」の販売を継続【芳賀】【宇都宮】
- 広報誌やケーブルテレビ、ホームページ、周知チラシ, SNSなどを活用したライトラインの利用方法などの各種情報の発信を行う。【芳賀】



▲開業1周年記念イベントの様子(芳賀)
▼開業1周年記念イベントの様子(宇都宮)



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(②計画区域全域のバス路線の維持・充実)

主な取組の進捗(➡:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) ライトラインなどと連携したバス路線の再編等(地域公共交通利便増進事業)【芳賀・宇都宮】

【JR宇都宮駅東側のバス路線について 宇都宮】

- ・ ライトラインの導入とあわせて新設したバス路線の利用状況をICカードデータから調査・分析し、利用実態の把握を実施
- ・ 「清原工業団地内循環線」については、沿線企業へのヒアリング調査を実施し、従業員や来訪者の移動実態やニーズの把握を実施

➡ 清原エリアや平石エリアの新設路線については、住民や企業、交通事業者とこれまでの利用状況を共有し、各地域にとって最適な公共交通サービスについて意見交換を行いながら、検討を進めていく。

【芳賀工業団地エリア内の公共交通の最適化 芳賀】

- ・ 芳賀工業団地循環線について、芳賀工業団地エリア内の移動需要に応じた最適な公共交通サービスへの見直しを図るため、当該路線の運行を終了(R6.10)

➡ 再編バス路線を含む町内公共交通の最適化に向け、地域の需要に即したバスネットワークの見直しについて沿線市町やバス事業者と協議を進める。

2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(②計画区域全域のバス路線の維持・充実)

主な取組の進捗(⇒:今後の方針, 令和7年度の取組)

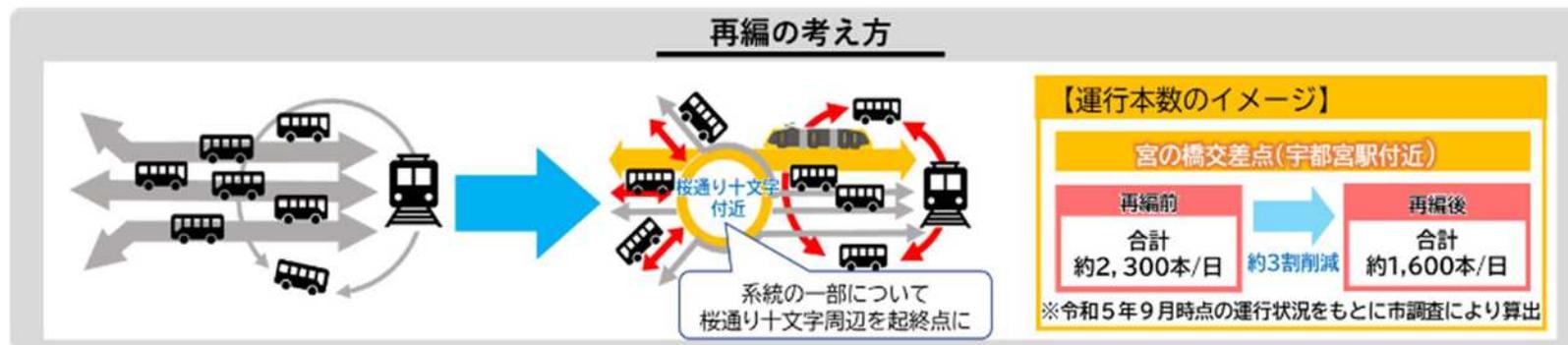
(1) ライトラインなどと連携したバス路線の再編等(地域公共交通利便増進事業)【宇都宮】

【JR宇都宮駅西側のバス路線について】

- ・ 駅西側ライトラインの整備内容の公表と合わせて、開業時のバス路線の再編イメージを公表
→ 大通り区間のバスを3割程度削減し、郊外部の幹線バスや都心部の循環バスに振り分ける
- ⇒ 大通り区間の道路空間や、JR宇都宮駅西口や桜通り十文字交差点周辺等の交通結節点などの各検討と連携しながら、大通り区間のバス停配置や、各交通結節点におけるバス機能の配置などについてバス事業者と協議を進める。

(2) NCC形成に資するバス路線の維持・充実【宇都宮】

- ・ 郊外部の地域拠点と都市拠点を結ぶ幹線バス路線等への補助を行うNCC路線補助制度について、立地適正化計画の見直しに合わせて対象路線を拡大(鶴田駅～JR宇都宮駅西口 等)
- ⇒ NCC路線補助を継続し、NCC路線の維持を図るとともに、バス路線の維持・充実方策について引き続き、バス事業者とともに検討していく。



◀JR宇都宮駅西側
ライトライン延伸時
のバス路線再編の
考え方

2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(③日常の移動を支える公共交通の維持・充実)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) デマンド交通の維持・充実【芳賀】

- ・ 車両の効率的な運用による町内交通の充実を図るため, 町内便の増台(3台→4台)(R6.4~)
- ・ ライトラインとの乗り継ぎ利便性向上のため, 清原地区市民センター前トランジットセンターを新規目的地として追加(R6.4~)
- 利便性向上や運行効率化に向け, 利用実績や利用傾向を把握・分析し, 運行台数の適正化など, 実情に合ったサービス水準, 運行計画への見直しを行う。
- 公共交通が不足する地域のデマンド未利用者に対し, 利用機会の創出や利用促進に向けた取組を行うため, 現在運行の無い朝の時間帯のデマンド実証運行を行い, 需要の把握を行う。



(2) 芳賀町の南北を結ぶ公共交通軸の確立【芳賀】

- ・ 町の北部エリアと芳賀工業団地トランジットセンターとを接続する, 朝夕の無料バスの実証実験を実施
- R6実証実験の結果を基に, 利用実態と照らし合わせた最適な交通サービスについて検討を行う。
- 今年度予定しているデマンドの実証運行の実績から, 今後の南北軸の検討に活用する。



18 | 広報芳賀 令和7年1月号

2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(③日常の移動を支える公共交通の維持・充実)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(3) 地域内交通の導入・利便性の向上【宇都宮】

- ・ 雀宮地区における地域内交通導入自治会の増加
→R5:27自治会⇒R6:32自治会に増加
- ・ 地域内交通運営事務アドバイザー制度を活用し, 各地域内交通運営組織の支援・育成
→R6実績:計3回実施(8月:横川地区 12月:石井地区, 横川地区)
- ・ 各地区の利用者数に応じた補助上限額を設定することで全体的な運営経費補助の引き上げを実施

- ➔ 地域内交通の導入地区すべてにアドバイザーを派遣し, 運営組織の支援・育成を推進していく。
- ➔ 利用実績やアンケート結果などを踏まえ, 運行内容等の検討を行い利便性の向上に取り組んでいく。

(4) 市街地部における生活交通の確保【宇都宮】

- ・ 細谷・上戸祭地区において, 県内初となるミーティングポイント型予約運行方式の実証運行を開始(R7.3~)
→現在の導入地区数:R6市内15地区18路線⇒R7市内16地区, 19路線
- ・ 中央, 築瀬地区において, 導入に向けた勉強会や移動需要に関するアンケートを実施し, 検討を進めた

- ➔ 細谷・上戸祭地区における実証運行を継続するとともに, 利用者数や移動実態などを把握しながら, 運行の効率化に向けて, 適宜, 運行計画の見直しや利用促進策を実施する。
- ➔ 中央・築瀬地区において, 各地域に最適な運行計画や運営組織の在り方などを地域と共に検討しながら確立し, 複数地区共同による実証運行を実施する。



▲細谷・上戸みらい号運行開始式

2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(④鉄道・ライトライン・バスを補完する交通手段の充実)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) トランジットセンターなどへのサイクル&ライド用駐輪場の整備【宇都宮】

- ・ 利用率の高い「峰」,「飛山城跡」,「清陵高校前」,「ゆいの杜西」,「ゆいの杜中央」停留場の駐輪台数を拡充(合計:116台増)
- ・ 「陽東3丁目」停留場については,新たな駐輪場の整備に向けて整備場所の確保など,準備を進めた。

→ 利用率が特に高い駐輪場については,隣接する駐輪場への誘導も考慮しながら更なる増設を検討する。

→ 「陽東3丁目」停留場については,駐輪場を新たに整備する。

(2) 鉄道・ライトライン・バスを補完するシェアリングモビリティの充実【芳賀・宇都宮】

- ・ 将来的な民間事業者による独自運営を目指して,事業者選定を行い,官民共創での事業を開始(R6.10~)
→ 【シェアリングモビリティの実施状況】(R7.3末時点)【宇都宮】
ポート数:132カ所,車両数:377台
利用回数:70,186回/月平均:約11,697回(目標値:94,500回/月平均:15,750回)

→ 中心市街地におけるポートの高密度化や車両の増台などに事業者と連携しながら取り組み,端末交通としての利便性向上を図る。

→ 【R7年度目標値】ポート数:135カ所,車両数:400台,利用回数:263,160回(月平均:21,930回)

- ・ 端末交通の拡充や観光周遊性の向上のため,シェアサイクルサービスの実証実験を実施【芳賀】

→ 実証実験の結果等を基に,地域特性に応じた最適なシェアリングサービスの提供方法について検討を行う。



▲ゆいの杜西の駐輪場 ▼ナリエ第2ポート



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(⑤多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築)

主な取組の進捗(➡:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) トランジットセンター(乗り継ぎ拠点, 略称:TC)の整備【宇都宮】

【JR宇都宮駅西側】

- ・ JR宇都宮駅西口周辺について, 交通事業者と協議・調整を進めながら検討を行うとともに, 懇談会において駅前広場の整備計画を提示・意見交換を実施
- ・ 東武宇都宮駅周辺について, 乗り継ぎ利便性向上を図るため, 東武馬車道通りの整備について地域や事業者等との意見交換や, 交通規制の影響評価に係る交通流動調査, 荷さばき事業者へのヒアリングを実施
- ・ 桜通り十文字周辺について, 地区の現況調査に基づいた課題を整理し, 整備手法を検討

- ➡ JR宇都宮駅西口について, 引き続き交通事業者や交通管理者など関係機関と協議・調整を進めながら, 駅西口駅前広場の基本設計を行う。
- ➡ 東武宇都宮駅周辺について, 引き続き, 東武馬車道通りの今後の整備イメージについて, 地元関係者等との合意形成を図る。
- ➡ 桜通り十文字周辺などのTCについては, 関係課と連携しながら地区の将来像の検討を行うとともに, ライトラインとバスなど多様な交通手段が円滑に乗り継ぐことの出来る施設整備のあり方などについて検討を進める。

【JR宇都宮駅東側】

- ・ 開業後の利用状況等を踏まえ, 平石停留場に駐車場を増設した。(平石:55台→174台)
- ・ 平石及び飛山城跡停留場に多目的トイレを2基ずつ設置【宇都宮】
- ➡ 利用者アンケートなどを通じて, 駐車場の利用実態の把握に努め, 良好な利用環境を提供できるよう, 必要な対応を検討していく。



▲JR宇都宮駅イメージ図
(※第3回懇談会資料より)
▼駐車場の増設(平石-停留場西側)



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(⑤多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(2) バスと地域内交通の乗り継ぎポイントの整備【宇都宮】

- ・ モビリティハブ(※)事業の展開に向けて調査を進めるとともに、民間事業者等へのヒアリング、令和7年度からの事業展開に向けた協議・調整を実施
- ➔ 公共交通等との乗り継ぎ利便性の向上に向けて、民間施設等と連携したモビリティハブ事業を展開していく。
- ➔ 令和7年度においては幹線バス停付近のミライト一条において株式会社ヨークベニマルと連携し、モビリティハブを展開していくとともにその他のライトライン停留場やバス停付近においても事業展開を図っていく。

(※) 公共交通の交通結節機能に加え、シェアリングサービスなどの多様な移動サービスを提供するとともに、交流機能・休憩機能などを付与することで、乗り継ぎ利便性の向上を図るもの。



【主な利用可能機能】



▲ バス停留所 (一条バス停)
運行本数:約200本/日(平日・上下)



▲ デジタルサイネージを活用した
時刻表等の情報発信



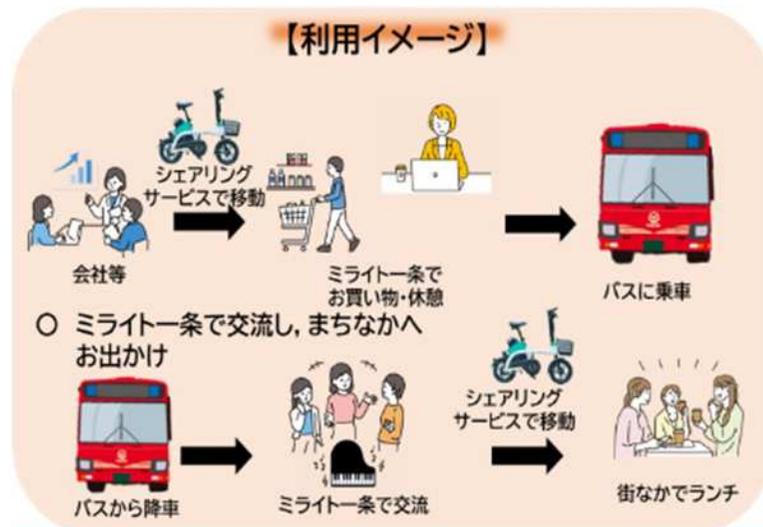
▲ シェアリングサービス
駐輪上限:10台



▲ 宅配ボックス



▲ 交流機能



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(⑤多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(3) バス乗り場「橋場」の交通結節機能の整備検討【芳賀】

→ 橋場バス停の交通結節点としての利用需要の把握し、整備の方針について改めて検討する。

(4) 公共交通の案内サインの充実【芳賀・宇都宮】

- ・ 芳賀工業団地トランジットセンター周辺の道路上にトランジットセンターへの案内看板を複数設置【芳賀】
- ・ 芳賀工業団地トランジットセンターの待合所内や乗降所に各種町内公共交通の時刻表や利用案内等を掲示【芳賀】
- トランジットセンターの利用状況や利用者からの声を参考に、わかりやすいサイン表示を適宜取り入れる。
- ・ 宇都宮駅・宇都宮大学陽東TCのデジタルサイネージに時刻表等を掲載【宇都宮】
- ・ 宇大陽東キャンパス停留場に接続する新設バスに便利に乗り継ぐことができるバス時刻表を作成し、動機付け資料として配布(平石・岡本, 清原エリア)【宇都宮】
- ・ 平出工業団地の企業に対して、各社毎にアレンジしたチラシ・時刻表を作成し、動機付け資料として配布【宇都宮】
- 引き続き、公共交通沿線の企業・住民等に対して、公共交通の利用促進に向けた周知を行っていく。



▲芳賀工業団地トランジットセンターへの案内看板の設置
▼宇大陽東キャンパス停留所からバスへの乗り継ぎ案内(抜粋)



2 主な取組の進捗 基本方針2 スマートな公共交通の実現



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①公共交通の運賃負担の軽減)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) 公共交通の運賃負担の軽減【宇都宮】

- バスからバスへの乗継割引制度の導入(R6.7~)R6実績:184,013件
→ 乗り継ぎ割引の適用により「どこから乗っても乗り継いでも街ナカまで片道500円以内」の実現
- 「市内のどこから乗ってもどこまで行っても片道500円以内」の実現に向けて、ライトライン、バス、地域内交通を定額で乗車でき、キャッシュレスでも購入・利用が可能な交通系ICカードを活用した1日乗車券について、令和7年度内を目途に導入を進めていく。
- ライトライン・バス連絡定期券購入支援制度(R6.7~)R6実績:138件
→ 通学者を対象としたライトライン・バス連絡定期券の購入額の30%を補助
- 引き続き、支援制度を運用するとともに周知・利用促進を図る。

令和6年7月5日サービス開始!

バスからバスへの乗継割引制度 始まる!

バスからバスへ乗り継いだ際、2乗車目の運賃から200円割引されます!

条件 ① totora利用者 ② 60分以内の乗り継ぎ

※乗車自動券及びJR/バス事業者が運行する路線バスの乗り継ぎ(JR/バス事業者は宇都宮駅直営のみ)

以下の運賃負担軽減サービスと組み合わせ、公共交通をおトクに利用しよう!

バスの上乗運賃制度	ライトライン・バス-地域内交通の乗継割引制度
条件 ① 時間帯:平日9時から平日19時(9時開始) ② 区 域:市内での乗り継ぎ ③ 交通系ICカード(totora/Edulica等)を利用	条件 ① totora利用者 ② 60分以内での乗り継ぎ
1乗車あたりの上限が400円	ライトライン・バス 100円割引 ライトライン/地域内交通 200円割引 バス/地域内交通 200円割引

宇都宮市交通政策課 ☎028-632-2160
関東自動車株式会社 ☎0570-031811 ジェイアールバス関東株式会社 ☎028-687-0671

▲バスバス乗継割引
▼ライトライン・バス連絡定期券支援制度

宇都宮市の学生の皆さん

3割おトクに通学しよう!

令和7年度 ライトライン・バス 連絡定期券支援制度

2 主な取組の進捗 基本方針2 スマートな公共交通の実現



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(②交通DXの活用)

主な取組の進捗(➡:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1) 乗継割引を反映した情報提供【芳賀・宇都宮】

- ・ ライトライン・バス経路検索システム「乗ろうよ！ナビ」の機能改修・拡充を実施【宇都宮】
→地域内交通(定時定路線)の検索対象化や各種割引制度の反映
→住所地及び目的地からの検索(トータルナビ)の導入
- ・ 市町HPやリーフレット等を活用し市民・町民などへの周知を図った。【芳賀】【宇都宮】

➡引き続き、「乗ろうよ！ナビ」を活用し、MMIにおける主要な動機付けツールとして活用していくとともに、市HPや広報紙、SNSなどあらゆる媒体を活用した周知を図る。
【芳賀】【宇都宮】



乗ろうよ！ナビの検索 ▲画面 ▼結果



2 主な取組の進捗 基本方針2 スマートな公共交通の実現



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(②交通DXの活用)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(2) デマンド交通システムの見直しの検討【芳賀】

- ・ AIオンデマンドシステムなどの導入に向け、複数自治体の先行事例視察や、各種システムの比較・検討を実施
- AIオンデマンドシステムの導入スケジュールや効率的な運用方法、町のデマンド運用に最適なシステムの選定基準等について検討を行い、早期の導入実現に向けた準備を進める。

(3) 地域内交通の予約配車システムの利便性の向上【宇都宮】

- ・ 市内初の「ミーティングポイント型デマンド方式」で運行する細谷・上戸みらい号にも予約配車システムを導入
→ デマンド方式の運行を行っている全ての地区へのシステム導入が完了
- システムの利用促進に向けて地域と連携した利用体験会の実施やサービスの周知を行う。

▼地域内交通 予約配車イメージ図

(4) ライトライン車両内のフリーWi-Fiの搭載【芳賀・宇都宮】

- ・ 車両全17編成及び宇都宮市区間の全15停留場のフリーWi-Fiの安定運用
→ 接続数: 月平均約1万3千回(R6. 4~R7. 3)
- 引き続き, 安定運用に努める。



2 主な取組の進捗 基本方針3 公共交通の利用促進



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①公共交通の利用促進)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(1)ライトライン・再編バス路線沿線でのモビリティ・マネジメント【芳賀・宇都宮】

【沿線住民に対するMM 宇都宮】

- ・ 宇太陽東キャンパス停留場でライトラインとバスを便利に乗り継ぎできる時刻表の作成・配布や、経路検索システム「乗ろうよ！ナビ」の利便性を周知し、事前・事後アンケートを実施

→効果:最終回答者(503名)のうち「公共交通とマイカーを使い分けている」方が約48%(242名)

【沿線企業に対するMM 宇都宮】

- ・ 平出工業団地内の5社を対象に「乗ろうよ！ナビ」の利用案内と各企業の就業時間等に合わせたカスタマイズした時刻表を作成・配布した上でアンケートを実施

→効果:回答した5社計115名のうち40%(46名)が通勤で公共交通を利用するイメージが沸いたと回答

【沿線学校に対するMM 宇都宮】

- ・ 作新学院大学・女子短大の生徒とともに公共交通を利用した通学や沿線の魅力を訴求するマップを作成し、同マップを活用したアンケートを校内で実施

→効果:回答した学生(80名)のうち75%(60名)がライトラインの利用意向を示した。

- ➔ 引き続き、各MMを推進していくとともに、今までの各取組を分析し、より効果的な動機付けができるようMM内容の見直しを図る。

【沿線住民に対するMM 芳賀】

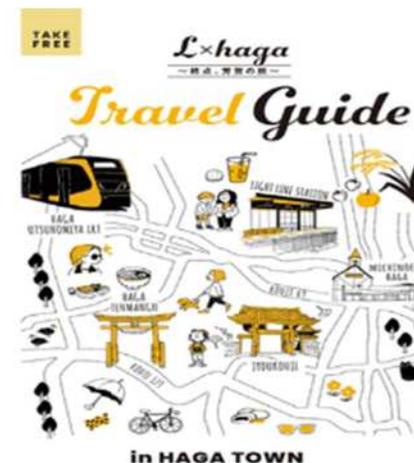
- ・ 「L×haga～終点、芳賀の旅～」トラベルガイドの作成・配布
- ・ 各種情報媒体を活用したLRTの交通ルールやライトライン1周年イベント情報などの情報発信

- ➔ ライトラインやバス、デマンド交通など多様な公共交通機関の利用案内に関する情報提供を継続的に実施するとともに、出前講座や乗車体験も実施し、公共交通の利用意識の向上を図る。



▲作新学院大学・女子短期大学に配布した沿線マップ

▼「L×haga～終点、芳賀の旅～」トラベルガイド



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①公共交通の利用促進)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(2) 児童・生徒, 移住者を対象としたモビリティ・マネジメント施策の推進【芳賀・宇都宮】

【totra促進事業】

- ・ 市内に住む全ての小・中学生, 高校生に対し, totraの引換券の配布の実施【宇都宮】
→R6引換実績:15,127枚/27,354枚 55.3%
 - ・ totraを配布した市内中学校のうち, 陽東中学校に対して出前講座を実施【宇都宮】
 - ・ 町内全小中学生を対象としたtotra配布事業を実施【芳賀】
- 引き続き在住する全ての小・中学生等がtotraを利用できるよう配布事業を実施していくとともに, 適宜, 出前講座を実施し公共交通利用の意識醸成を図る。

【バスの乗り方教室など】

- ・ 実際に市内を運行するバス車両を使った, バスの乗降体験や車内でのマナー説明や, 車椅子での乗降体験等を実施(R6年度 実施学校数 4校)【宇都宮】
 - ・ 小中学生を対象に, 各学校でLRT事業や公共交通に関する内容を含む出張授業を実施【芳賀】
- 進学などライフステージの転換機におけるMMが有効なことから, 交通事業者と連携し乗車体験を実施するなど効果的に子どもたちへの働きかけを行っていく。
- 現地での乗り方教室実施が難しい学校もあることから, 動画等の活用も検討する。

全ての小中学生にtotraを配布します!
宇都宮みらい衛生課 028(677)6012

町では, 公共交通を利用する習慣の定着しとなるよう, 町内にお住まいの小中学生に, 交通券にカード「totra(トトラ)」を配布します。
更新の機会に「totra」を使ってスマートフォンや自動販売機が利用できます。

配布対象	町内在住の0~19歳学生 ・小学生—小用totra1枚 1,000円分(電子マネー500円分+アポイント500円分) ※すでに小用totraをお持ちの場合は, 大人用(顔認証)totraを配布します。 ・中学生—大人用(顔認証)totra1枚 1,000円分(電子マネー500円分+アポイント500円分) ※6月11日(日)以降に入籍した人は, 宇都宮みらい衛生課窓口で申し込み手続きが必要です。 ※6月11日(日)以前に入籍している人は, 宇都宮みらい衛生課窓口で申し込み手続きが必要です。 ※窓口で申し込み手続きした人は, 小中学生共に大人用(顔認証)totraでの配布となります。 7月下旬から
配布方法	・小学生—小用totra1枚 1,000円分(電子マネー500円分+アポイント500円分) ・中学生—大人用(顔認証)totra1枚 1,000円分(電子マネー500円分+アポイント500円分) ※6月11日(日)以降に入籍した人は, 宇都宮みらい衛生課窓口で申し込み手続きが必要です。 ※6月11日(日)以前に入籍している人は, 宇都宮みらい衛生課窓口で申し込み手続きが必要です。 ※窓口で申し込み手続きした人は, 小中学生共に大人用(顔認証)totraでの配布となります。 7月下旬から
注意事項	・大人用(顔認証)totraから小用totraへの切り替えには, totra両用窓口での手続きが必要です。 ・totraご利用方法の詳細については, totra2式ホームページをご覧ください。 totra2式ホームページ

▲totraの配布案内(芳賀ver)
▼バスの乗り方教室



2 主な取組の進捗 基本方針1 階層性のある公共交通ネットワークの整備



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

事業内容(①公共交通の利用促進)

主な取組の進捗(→:今後の方針, 令和7年度の取組)

(2) 児童・生徒, 移住者を対象としたモビリティ・マネジメント施策の推進【芳賀・宇都宮】

- 各公共施設等でのバスマップの配布, 転入者への配布【芳賀】【宇都宮】
- 引き続き, 様々な場所や転入手続きなどのタイミングで, バスマップの配布を行い, 公共交通の周知, 利用促進を行う。
- 「エコ通勤普及促進事業」を引き続き推進し取得事業者数が15社増加(計 86社)【宇都宮】
- 引き続き, 足利銀行等と連携し市内事業者への「エコ通勤優良事業所認証申請」を支援するなど, 公共交通利用への意識醸成を図る。



▲宇都宮・芳賀バス路線マップ

▼バスラッピングの外観, 車内の様子



3 現行計画の目標指標の達成状況(総括)



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

- ・「公共交通の利用者数」や「公共交通の満足度(宇都宮)」は目標値に到達している状況。
- ・「公共交通のカバー率」と「ICカードによる運賃支払いの割合」は、それぞれ上昇しており、目標値へ向け、着実に進捗している。
- ・「公共交通の満足度(芳賀)」は、今年度調査を行う予定であるため、次年度に評価を行う。

目標指標		計画策定時(令和5年度)	目標値(令和10年度)	最新数値(令和6年度)	達成率
公共交通の利用者数		2,789万人/年 (令和4年度)	3,400万人/年	3,400万人/年 (令和5年度)	100% ◎
公共交通のカバー率 (夜間人口)		92.5%	100%	93.6%	93.6% ○
公共交通に対する満足度	宇都宮市	36.4%	38.4%	40.7%	105.9% ◎
	芳賀町	41.4%	50.0% (令和9年度)	— % (※R7年度に評価予定)	— %
ICカードによる運賃支払いの割合		87.0%	90%以上	89.6%	99.6% ○

3 目標指標の評価① (公共交通の利用者数)



芳賀町
Haga Town



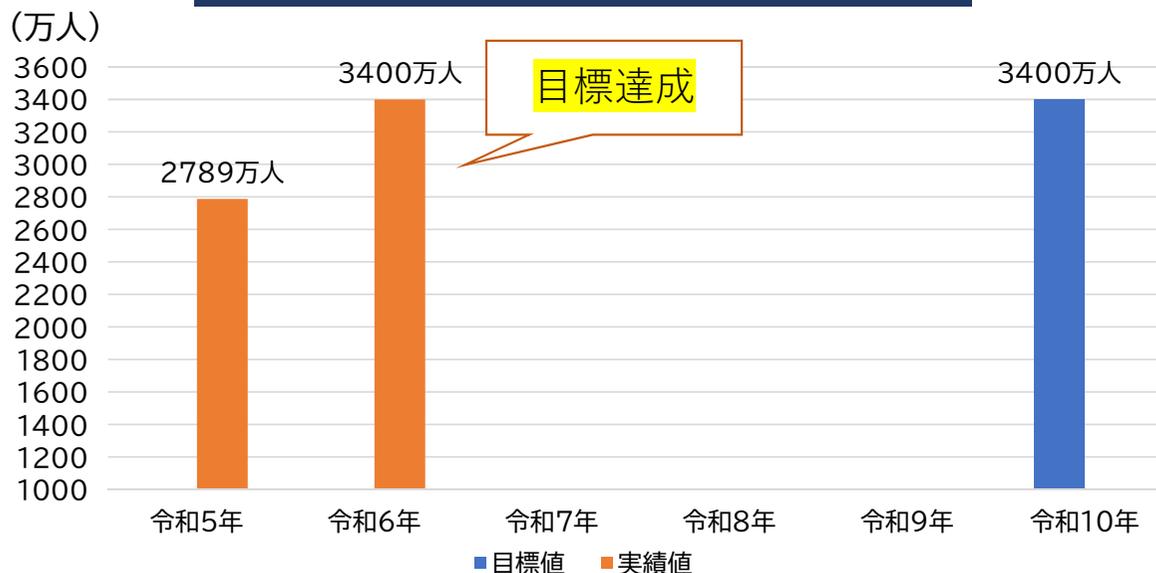
宇都宮市
Utsunomiya City

- ・「公共交通の利用者数」は、令和5年8月のライトラインの開業やバス路線の再編、運賃負担軽減策の充実により、公共交通の利用者数は上昇し目標値に到達した。
- ・今回の集計においては、ライトラインの利用者数の対象期間が令和5年8月から令和6年3月までであったため、次年度に目標値の見直しを予定している。

【目標指標の達成状況】

計画策定時 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	最新数値 (令和6年度)	達成率
2,789万人/年 (R4)	3,400万人/年	3,400万人/年 (R5)	100%

【公共交通の利用者数の推移】



3 現行計画の目標指標の評価② (公共交通のカバー率(夜間人口))



芳賀町
Haga Town



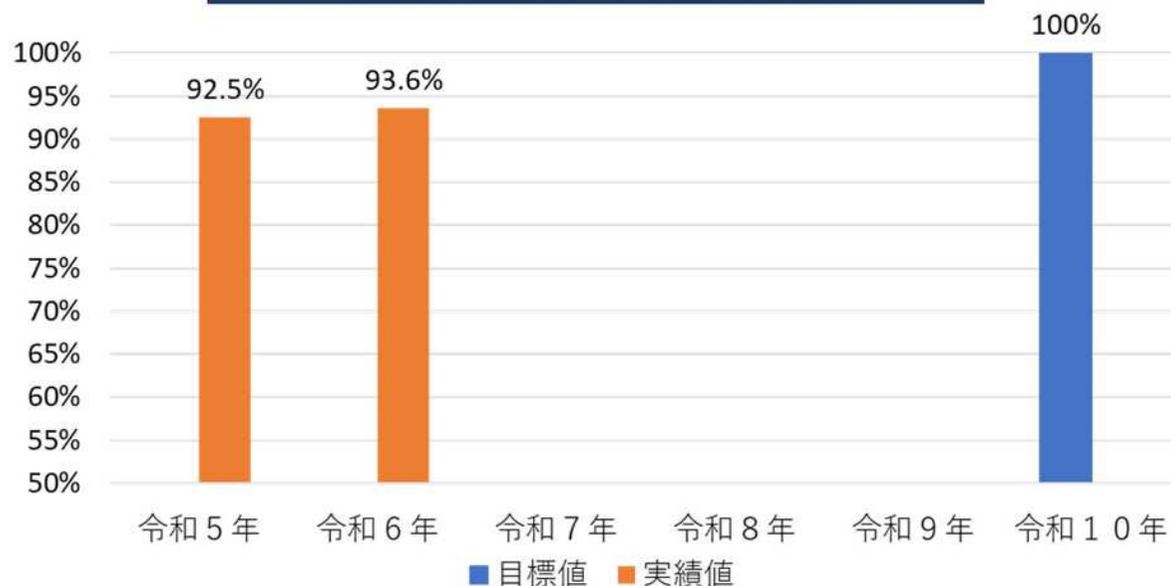
宇都宮市
Utsunomiya City

宇都宮市においては、細谷・上戸祭地域への地域内交通の導入により、カバー率が上昇している。
(芳賀町は町内全域にデマンド交通を導入しているためカバー率100%を達成済)

【目標指標の達成状況】

計画策定時 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	最新数値 (令和6年度)	達成率
92.5%	100%	93.6%	93.6%

【公共交通のカバー率(夜間)の推移】



3 現行計画の目標指標の評価③

(公共交通に対する満足度)



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

「公共交通に対する満足度(宇都宮)※1」は、ライトラインの利便性向上に加え、乗継割引制度の導入などの運賃負担軽減策などに取り組んだことから、ライトライン開業により大きく上昇した前年から、さらに上昇している。

【目標指標の達成状況】

計画策定時(令和5年度)	目標値(令和10年度)	最新数値(令和6年度)	達成率
宇都宮市:36.4% 芳賀町:41.4%	宇都宮市:38.4% 芳賀町:50.0%(※)	宇都宮市:40.7% 芳賀町: — %(※3)	宇都宮市:105.9% 芳賀町: — %

(※1) 出典：世論調査 (※2) 芳賀町の目標値は、令和9年度 (※3) 芳賀町の「公共交通に対する満足度」は、令和7年度中に評価予定

【公共交通に対する満足度の推移】(宇都宮)



3 現行計画の目標指標の評価④ (ICカードによる運賃支払いの割合)



芳賀町
Haga Town



宇都宮市
Utsunomiya City

小・中学生等へのtotraカード配布や乗り継ぎ割引制度の拡充などによって、ICカードによる運賃支払いの割合は上昇している。

【目標指標の達成状況】

計画策定時 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	最新数値 (令和6年度)	達成率
87.0%	90%以上	89.6%	99.6%

【ICカードによる運賃支払いの割合】

